



幌延町広報誌

ほろのべの恋

2019年12月号
(令和元年) 12月号
NO.662

- 町政懇談会の意見・要望 …P2,3
- ほろのべ議会だより 第112号…P9～16



おぼえたセリフ むねはって

特集 芸術文化発表…P4,5

幌延町ウェブサイト
<http://www.horonobe.hokkaido.jp/>



広報誌
ページ



令和元年度町政懇談会で交わされた意見・要望を紹介します

令和元年度の町政懇談会は9月25日～10月2日のうち5日間、役場庁舎や問寒別生涯学習センター、南上幌延集会所などで7回開かれ、計57人の町民の皆さんに参加していただきました。

懇談会では、町側から①告知端末機の更新 ②教育行政の取り組み ③令和2年度以降の幌延深地層研究計画案についてそれぞれ説明があった後、町政全般について参加者と町側が意見を交わしました。ここでは皆さんからいただいた意見や質問、要望を抜粋して紹介します。

◆告知端末機更新について

Q 新しい告知端末機は、110番や119番など緊急電話はかけられないのか。

A 告知端末機からかけられる回線は町内に限っている。110番や119番は町外にかかってしまうのでかけられない。

Q 告知端末機を使い、朝に独居老人の体調を確認するなどしている町もあると聞いた。今回、同じことはできないのか。

A ある自治体では、告知端末機を使った高齢者の見守り事業をNPO法人に委託しているようだ。取り組み自体は賛成で本町でも以前検討したが、実施主体や対象者を選ぶ基準を決められず、取り組める環境が整っていない。環境が整えば考えたい。



◆令和2年度以降の幌延深地層研究計画案について

Q 住民から集められた意見は、確認会議でどのように活かされるのか。また、研究延長の是非が決まるまでのスケジュールは。

A 町政懇談会などで出た意見は、確認会議に反映される。会議で確認事項が確認されたら、北海道知事と幌延町長にその内容が報告され、自治体としての対応をそれぞれ判断する流れになる。

Q 町は「3者協定があるから核は持ち込まれない」と言っているが、仮に国が、処分地は地層処分の研究を続けている幌延しかないという状況になったら断れるのか。

A 幌延が処分地にならないよう、「核を持ち込まない」などを取り決めた3者協定と町の条例をつくった。処分場建設は受け入れないという強い意志を示した形だ。皆さんと一緒に研究とその行方をしっかりと注視していきたい。

Q いずれあの坑道に廃棄物を埋めるのだという話を聞くが、幌延の研究施設はそのような場所ではないと思う。

A 幌延の研究施設は、処分場とは位置づけが違う。核廃棄物を埋めるための技術を磨く場だ。3者協定の約束はしっかり守ってもらうし、中間貯蔵施設にもし

ない。そのうえで研究を進めてもらうので、その約束を破って幌延に核廃棄物を埋めるということにはならない。そういう条例をもっている。町民の心配を払拭したい。

Q これまで原子力機構の研究による地元への地域貢献は大きい一方で、幌延も日本の原子力政策へ協力・貢献もしてきたはずだ。多くの町民が研究期間の延長を望んでいると思う。町もその意見をしっかりと伝えてほしい。

A 確認会議で確認すべき点をしっかりと押さえた上で、皆さんの意見を反映させたい。



◆町政全般について

Q 10月から保健センターの機能が庁舎内に移り、相談に行く町民は利用しづらくなると思う。なぜ移設したのか。不便だという声が多ければ元に戻す考えはあるのか。

A これまで保健師は保健センターと庁舎を行き来しており、事務作業の負担が大きかった。庁舎内にまとめることで地域包括・保健福祉・医療の三位一体・連携の充実を目指す。検診事業などは引き続き保健センターで行うので、不便をか



けるものではないと考える。あまりに不便で困るとなれば調査をして元に戻すことも考えるが、当分は様子を見たい。

Q J R宗谷線の存続に関し、町からJ Rに財政支援するのはおかしいのではないか。

A 旭川以北の沿線自治体等で構成されている協議会で方針を決めた。今後も地方が財政支援を続けるべきではないとの考えはあるが、まずは2年間、鉄道法が改正されるまで支援することとした。

Q 今年の農協総会で組合長が出資型法人設立を検討していると言っていたが、町の方に協力を求めるような話はあったか。

A 法人設立について、継続的に農協から町に話はあるが、まだ具体案は話し合

っていない。農家数が減っており、農協も町も互いに危機感を強めている。

Q 町内の橋の工事の状況を知りたい。状態の悪い橋は多いのか。

A 雄信内大橋は部品落下が原因で10〜11月に工事を行い、今回で一段落する。町内には91の橋があり、調査の結果、すぐに直さなければならぬ橋が複数あると分かっている。ほかにも劣化が進んでいる橋があり、落橋事故が万が一にも起きないよう補修の実施計画を立て、工事を進めている。

Q 婚活事業の進捗状況を教えてほしい。成果は出ているか。

A 町内事業所などの若者による実行委員会を中心に、婚活イベントを始めて3年目になる。8月のイベントでは30人ほど参加した。女

性を町外からも募るなど規模を大きくしている。結婚という成果はすぐに出るものではないが、継続していくことに意味がある。今後実行委員会をサポートしていきたい。

Q パンケ沼周辺にある木道が長年壊れたままなので、直してほしい。

A 幌延ビジターセンターにある木道も含め、環境省から今年冬の改修計画があがっている。予算の関係ですべてが元通りになるわけではないが、補修を進める予定だ。見学者がより見やすくなるよう要請活動を続けたい。

回答に時間を要するものなどは、今後の広報誌でご紹介します。

町政懇談会に関するお問い合わせ先は、

住民生活課生活グループ
電話 5111112
告知端末機 518812

第7回
幌延町議会
(臨時会)

第7回幌延町議会（臨時会）は、10月25日に開会され、同意1件、議案1件を原案どおり可決し、同日閉会しました。

同意、議決された案件は、次のとおりです。

▼同意第1号
教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

教育委員会委員の任命について同意されました。

○佐藤 友子（幌延）
任期
自令和元年11月1日
至令和4年9月30日

▽議案第1号
工事請負契約の締結について（問寒別除雪センター建設工事）

平成31年度施行問寒別除雪センター建設工事を、5368万円で株式会社森崎組と工事請負契約を締結するものです。

術文化発表

幌延中学校合唱コンクール 10月26日(土)・上段、学校祭 27日(日)・下段



3年生合唱 課題曲「変わらないもの」自由曲「あなたへ」



舞踊発表「エイサー」



英語暗唱発表

幌延小学校学芸会 10月20日(日)

認定こども園おゆうぎ会 11月9日(土)



6年生:劇「みんなちがって みんないい」



にじ組:オペレッタ「おばけのがらごうへきてください」



1年生:ダンス「友よ この先もずっと」



ほし組:うた「やきいもグーチーパー」など

幌延町の芸

問寒別小中学校学芸会 10月20日(日)



小学生:よっちょれ 2019

問寒別へき地保育所おゆうぎ会 10月5日(土)



うた「うちゅうせんのうた」など



中学生:器楽「Good Cup Bad Cup Queenメドレー」



オペレッタ「にゃんきちいっかのだいぼうけん」

幌延町少年少女文化祭 10月25日(金)~11月7日(木)



小学生作品

問寒別町民文化祭 10月26日(土)、27日(日)



手芸教室のドールチャーム作り体験



中学生作品



陶芸サークルなどの作品を展示

幌延深地層研究センターについて

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（JAEA）幌延深地層研究センターは、高レベル放射性廃棄物の地層処分技術に関する地層科学研究や地層処分研究開発を行っています。

1. 地下施設整備の状況【図1、現在：維持管理中】

- ・立坑掘削深度：東立坑380m、換気立坑380m、西立坑365m
- ・水平坑道掘削長：深度140mの調査坑道186.1m、
深度250mの調査坑道190.6m、深度350mの調査坑道757.1m

※令和元年度は、地下施設での調査研究を継続しながら第3期中長期計画に掲げた次の3つの課題達成に向けた調査研究を進めます。

- (1) 実際の地質環境における人工バリアの適用性確認
- (2) 処分概念オプションの実証
- (3) 地殻変動に対する堆積岩の緩衝能力の検証

2. 施設見学について

- ・ゆめ地創館来館者数：6,535名（平成31年4月～令和元年9月末）
- ・地下施設見学会：例年4月から10月の第4日曜日に実施しています。来年度も予定しており、地下350mを体験できる貴重な機会です。ぜひご参加ください。

3. ホームページ

幌延深地層研究センターのホームページでは、地下施設や調査研究の状況を適宜掲載しています。

◇ホームページURL：<http://www.jaea.go.jp/04/horonobe/index.html>

4. 幌延深地層研究センターによる幌延町への経済効果

幌延深地層研究センターが平成13年に開所してから毎年、地元への経済効果についてお知らせしています。同センターおよび関係機関から確認をとった平成30年度の実績をお知らせします。

(単位：百万円)

職員および家族数	機構発注		JV・共同研究機関発注
	工事請負・業務委託・ 物品購入・借上・その他	社宅および寮の 賃借・管理業務	工事請負・業務委託・ 物品購入・借上・その他
職員等55名、家族29名	117	59	136

※このほか、同センターの地元雇用、従業員などの町内消費、町税収入、電源立地交付金などがあります。

5. 原子力立地給付金の交付について

電気料金の値上げなどに対する生活支援の観点から、電源立地地域対策交付金制度に基づき、交付金の一部を給付金として交付しています。

◇給付対象施設：幌延深地層研究センター

◇対象者：幌延町で10月1日現在、北海道電力株式会社と電気需給契約のある方

※一般家庭における従量電灯や時間帯別電灯の契約

◇交付金額：電灯契約1口あたり 8,100円(年額)

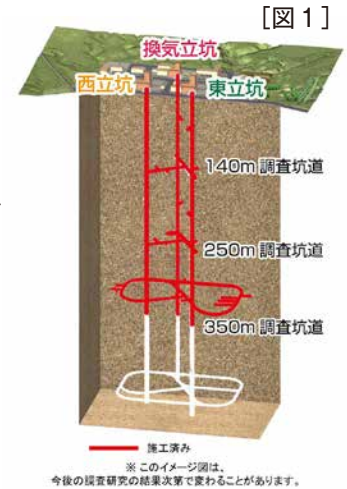
◇交付方法：電気料金振替口座への振込みなど

◇交付時期：令和元年11月中旬以降

6. 幌延深地層研究計画に関する協定および条例について

北海道、原子力機構、幌延町の三者で締結した「幌延町における深地層の研究に関する協定書（三者協定）」と幌延町議会の議決を経て施行した「深地層の研究の推進に関する条例（町条例）」を遵守して研究を進めています。

- 幌延町に放射性廃棄物を持ち込みません
- 研究終了後は地下施設を埋め戻します
- 幌延町に最終処分場や中間貯蔵施設は建設しません



地域コミュニティ形成事業

若者座談会、講演会・ワークショップを開催しました！

町は、いつまでも地域や集落で暮らし続けたいと願う住民が、そこでの生活を維持できる仕組みづくりを考え、実践する「地域コミュニティ形成事業」という集落支援対策の取り組みを進めています。今回、さまざまな世代が抱える課題を知り、幌延の未来について考えるため、座談会と講演会を開催しました。

○10/19(土)：若者座談会

若者が抱えている将来への不安や課題、町への期待や要望などを語り合う座談会を開催。会場では率直な意見が飛び交いました。

幌延の印象について、地元出身者は「お店が早く閉まる」「若者の遊び場が少ない」など不便を感じる一方、転入・移住者は「自然豊か」「屋外スポーツに適した環境」など前向きな意見が多くありました。

「幌延の未来に向けて」に対する意見は、時代に合う酪農業経営形態や産業の6次化、語らい・仲間づくりの場の設置、お土産品開発、住宅整備推進など移住定住・人口減少対策への要望が多く出ました。



区分	地元出身者	転入・移住者
幌延の良いところ	知り合いと常に挨拶を交わせる、道路の除雪が行き届いている	自然豊か、道路に信号が少なく屋外スポーツに適した環境、イベント情報を得やすい、ボランティア精神が醸成される、よそ者扱いされない
幌延の困る・不便なところ	都会からUターンすると不便を感じる、お店が早く閉まる（コンビニ、飲食店など）、欲しいものがすぐ手に入らない、習い事ができない、子供が少ない、若者の遊び場がない	どこへ出かけるにも距離が遠い、幌延の認知度が低い
幌延の未来に向けての期待・要望	<ul style="list-style-type: none"> 産業：乳牛（子牛）育成施設の整備、地域資源の商品化・加工施設整備、酪農業の分業制推進、幌延牛乳の生産、農家・商店主の増加対策 地域生活：冬の子供イベント「雪ん子まつり」のような自主的イベントの継続、義務的ではなく仲良しから自然に支え合う仕組みづくり 観光：トナカイのさらなるアピール 人口増：大胆な子育て支援策による人口増 	<ul style="list-style-type: none"> 産業：豊富な肉資源を生かした「肉のまち化推進」、他団体にはない財源を6次産業化へ投資する、お土産品の開発、地元産バターによる菓子製品開発 地域生活：思いを語り合って仲間づくりができる場の設置、住民アイデアを具体化する支援 人口増：人口増対策の積極推進、世帯用住宅の整備、豊富温泉湯治客の雇用と住環境整備

○10/20(日)：講演会・ワークショップ

NPO法人ひろしまね理事長の安藤周治氏による講演会『「ここで暮らし続けたい」の思いをつなぐ～地域から、暮らしを考えつくる営みを～』が開かれ、来場者は熱心に安藤氏の話に聞き入りました。

安藤氏は、自分たちが住む地域を胸を張って誇れるようになるために、①地域の「いいところ探し」で魅力を見つけ、それを貨幣価値換算する ②地域に自分なりの値段をつける「みなし家計簿」を作り、家族や友人と交換日記のようにやり取りする、ことが重要であると強調。「地域の良いところを探し好きになることは素敵なこと。地域の魅力を再確認し、魅力の見える化をしてください」と提案してくださいました。

こうした身の回りの資源に目を向けることは、現状の課題を把握し、望ましい地域の未来を考えるきっかけになるのかもしれませんが。「その資源を使って何かできないか」と考えることは、町を大きく前進させる未来の種になる可能性を秘めています。皆さんも「幌延・みなし家計簿運動」をしてみませんか？

その後のワークショップでは、①講演会で感じたこと ②今取り組んでいることとその課題 ③これからやってみたいこと、を話し合い、会場全体で発表しました。「昔はよかったね！」を再現したサロンを開催したいという意見や、「生活の足がなくなりゴミ捨ても困っている」という課題も共有しました。



お問い合わせ先：企画政策課 企画政策グループ 電話 5-1114 告知端末機 5-8814

秘境駅

南幌延駅

祝 還暦記念

待合所お化粧直し会



ミナミほろりんさん



1959年11月1日開業の南幌延駅は今年、還暦の60歳を迎えました。鉄道の日（10月14日）を翌日に控えた10月13日（日）、待合所のお化粧直し会を行い、待合所はきれいな姿に生まれ変わりました！！

○7/9(火)：住民説明会

お化粧直し会の概要説明と住民皆さんの意見を聞く説明会を開き、どのような待合所に改修するかを話し合いました。「目印となるような目立つ外壁にしたい」「記念に残る作業にしよう」などの意見を反映し、改修計画を煮詰めました。背面外壁を還暦色の赤とし、秘境駅キャラクター「ミナミほろりんさん」を描くことに決まりました。



住民説明会の様子



背面外壁完成予定図

○10/13(日)：お化粧直し会

外壁に描くキャラクターをペンキで塗るため、前日までに下書きや縁取り作業を進めました。

お化粧直し会当日は天候に恵まれ、地域住民や鉄道愛好家ら36名が参加し、朝から待合所内で「ミナミほろりんさん」のアルミ板設置、背面外壁のペンキ塗りを進める一方、隣接する南上幌延集会所で還暦を祝う装飾品を作りました。

お昼には、地域の思い出話に花を咲かせたりするなど楽しい時間を過ごしました。

午後からは、ペンキ塗りの仕上げや作った装飾品で待合所内部を飾り付け。最後に、未永く皆が集まれる場になるよう願いを込め、地域の方が「ミナミほろりんさん」に目玉を入れ、お化粧直し会を無事に終わりました。

今回のイベントは、町で進める集落支援対策「地域コミュニティ形成事業」の一環として行い、地域ニーズの把握や他地域との交流をテーマに開催しました。地域を支える足としての鉄道駅の大切さ、皆で集まって作業する楽しさ、他地域や多世代交流による生活の張りなど集落支援に向けたヒントをたくさん得ることができました。

皆さんも生まれ変わった南幌延駅待合所で地域の方と交流を楽しんでみませんか？



子どもたちもペンキ塗り



待合所内部も飾り付け



目玉を入れて完成！



完成した南幌延駅待合所で参加者記念撮影

お問い合わせ先：企画政策課 企画政策グループ 電話 5-1114 告知端末機 5-8814



ほろのべ 議会だより

北緯45度のまち

第112号

発行 北海道幌延町議会

編集 議会報編集委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971

第6回 定例幌延町議会

9月17日
9月18日



9月定例議会のようす

令和元年9月17日午前10時より第6回幌延町議会定例会を開会した。
行政報告、一般質問5名、認定7件、報告2件、同意2件、議案9件、意見案1件を審議し、全会一致で可決した。
併せて平成30年度各会計決算審査特別委員会も行われ、2日間の日程で全ての審議を終えた。
主な内容は次のとおり

地域の課題をとらえて

5氏が一般質問



地域交通について

質問 近年、全国的に高齢者の運転免許返納が加速している現状であり、広範な地域に民家が点在している本町のような酪農地帯において、長年住み続けることが困難になる中、市街地以外の幌延地区で相乗り事業が計画されている。

そのような中で、市街地の交通弱者を対象に、交通事業者を利用した場合のタクシー割引や交通費補助といった事業ができないか。

町長 地域交通については、広く地域住民全般にサービス提供できる公平性や、担い手等の供給体制面など、課題が多く、実施が困難な分野であり、慎重に検討を進める必要がある。

バイオマス構想について

質問 町長の公約であるバイオマス構想は、わが町の未来に非常に有意義だが、事業費が高額なことが課題となっている。

町ではどの程度の助成を考えているのか。また、その残高をリース事業にできないか。

町長 平成27年度から可能性調査を進め、事業費の積算に係る調査を進めている。現状においては、町独自の補助制度の構築やリース方式等の具体的検討は行っていないが、今後検討を進めたい。



富樫 直敏

・地域交通について
・バイオマス構想について





西澤 裕之
・令和2年度以降の幌延
深地層研究計画案につ
いて

令和2年度以降の幌延深地層研究計画案について

質問 地層処分調査・研究は、安心・安全を担保する上で重要な役割と責任を負っている。

町長 研究延長に反対する人やマスコミの報道では「約束違反だ」との意見があるが、問われるべきは20年程度という期間ではなく、研究の内容と成果であり、最大限の安全を担保し得る技術の確立にこそ拘るべきと考え

質問 研究計画案は、三者協定第7条に基づき原子力機構から計画変更の申し入れがあったもので、道と町では三者協定第14条に基づき設置した確認会議で内容確認を行っている。

町長 以前より深地層研究の重要性、必要性等については申し上げているが、指摘の

とおり、問われるべきは地層処分研究の内容と成果であり、最大限の安全を担保し得る技術を確立する上において、この研究の動向は重要な位置付けであることは認識している。

質問 確認会議での検討結果や町民の皆様の意見を踏まえ、道と歩調を合わせ、方針を決定したいと考えている。

質問 特定放射性廃棄物の最終処分には、国民の理解と信頼を得ることが必要だと思っている。

町長 深地層研究センターでは視察者の受け入れを行っている。地下空間と地層処分がどういふものなのかを体感できる唯一の施設であり、国民の理解を深めるための重要な施設と認識しているが、町長の見解は。

質問 幌延深地層研究計画は三者協定や町条例にお

て、核抜き施設であることを担保した上で研究開発を進めているにも関わらず、道民や国民に対し正確な情報が伝わっていないのか、最終処分場になるのではと心配する声があることは承知している。

質問 研究計画案への正しい理解が進むよう、多くの方に地下の研究施設を見ていただき、研究に対する理解を深めていただきたいと思っており、国内で地下深部を体感できる唯一の施設として、重要な役割を担っている。

質問 深度5百メートルまでの採掘については、住民の間でも強い関心を抱いているが、町長の認識は。

町長 今回の延長計画は、平成10年度に計画案が作られたときの基本をそのまま維持しながら、期間変更の申し入れだと捉えており、計画案に載っているものと認識している。

創生総合戦略について

質問 創生事業の点検評価の進捗状況は。

町長 施策の着実な推進を図るため、ロードマップを策定し、進捗状況を毎年度、創生会議で報告している。

質問 最終的な状況について、どのようにして町民と情報共有するのか。

町長 文書、書類等で開示できればと考えている。

質問 拠点施設構想のスケジュールでは、平成32年開館とあったが、遅れている。スケジュールの再考はしないのか。

町長 整備効果の高い場所、機能等のハード面、来場者に提供可能な観光コンテンツや目玉となる特産品、お土産品の開発等、ソフト面や実施体制について協議を進めているが、具体的な整備計画等の策定には至って



孝・弘・賀 齋
・令和2年度以降の幌延
深地層研究計画案につ
いて

いない。

質問 拠点整備を次期総合戦略にどう位置づけていくか、改めて検討する。

質問 町長の言う拠点というのは道の駅ということか。

町長 まだ煮詰まっていないが、拠点整備の協議のなかでは仮構想としてそのような名称になっていく気はしている。

質問 創生総合戦略ロードマップでは、新規農場設立、搾乳開始とあったが、進捗状況は。

町長 現在も関係機関と協議しているが、建築資材や人件費の高騰によって、整備費用が膨大になることから、どのような方法で生乳生産を開始したらよいか、引き続き検討を進めていきたい。

質問 百頭規模構想のバイオマス施設も一緒にした研

修農場を提案したい。

町長 モデル事業という形で何基か設定し、バイオマスを理解してもらおうのが必要であると考えますが、利用価値や維持、管理をするのに相当な労力や金銭が必要になる。

令和2年度以降の幌延深地層研究計画案について

質問 先の定例議会で「しかるべき時が来ましたら、議会をはじめ皆様へご相談させていただきたい。」と話しているが、しかるべき時とはいつだったのか。

町長 町の方針を決定していく「これから」が、しかるべき時になってくると考えている。

質問 平成31年度末までに研究終了までの工程を決定したいという以前からの機構の話は、守られたと思うか。

町長 原子力機構は「国内外の技術動向を踏まえて、地層処分技術基盤の整備の完了が確認できれば埋め戻しを行うことを具体的な工程として示します。」と

示しており、幌延での研究の役割を終えた際には、埋め戻しまでの工程が明らかにされると理解している。

質問 道では、道民から広く質問、疑問、意見を受け付け、今後の確認会議で機構に回答を求めるが、幌延町でも町民から意見・質問を受け付けてはどうか。

町長 町政懇談会において、町民からの意見を聴き、確認会議での原子力機構への質問事項に反映させたい。

質問 確認会議で道と幌延町の意見が合わない時の結論の出し方は。

副町長 確認会議とは、三者協定に嘘がないか、計画の変更の必要性、妥当性について確認する場であり、そういう時には、話し合いで詰めていくしかないと考えている。



農業振興について

質問 現状の幌延町の酪農状況をどのように認識しているか。

町長 乳価の高値によって農業所得は安定的に得られているが、経営主の高齢化や労働力不足などに加え、外国からの農産物輸入品への関税引き下げが行われることなどから、新規投資意欲が低下している。

質問 町長が思い描く、将来の経営形態とは。

町長 町の自然条件や経営環境から、今後とも草地型酪農が望ましいと考える。そのための自給飼料基盤整備を継続的に実施していく。少子高齢化による労働力不足で生乳生産を断念し、基盤を生かした肉牛経営基盤に転換する経営者にもしっかりと支援していく。

質問 新たな農業法人や新



植 村 敦

・農業振興について ・生活交通対策について

規就農を呼び込む施策が必要ではないか。

町長 町は以前より新規就農者に対する支援をしてきた。その中心となる幌延町担い手育成センターが新たな取組として、今年9月20日から22日に首都圏の方も含めた、酪農体験ツアーを実施する。

酪農法人や酪農以外への支援は、今後の課題としたい。

生活交通対策について

質問 生活交通対策の強化が、町の人口流出を抑えるひとつの手段だと考えるが。

町長 現在進めている地域コミュニティ形成事業でも生活の足の確保が大きな課題のひとつだと考えている。

その上で、高齢者地域交通支援は全町の公平なサービス提供が必要と認識しており、そのための課題を整理し、慎重に制度の構築を見極める必要がある。

質問 高齢者ドライバーの免許返納後の支援をどうするのか。

町長 過疎地での生活の足確保は、高齢者のみならず、自動車保有していない住民にとって、地域集落で生活し続けるには必要不可欠な対策と認識している。

全町の視点での支援を含め、議会や担当部局等とも協議を進め、まとめれば何らかの形で急いでやれるような項目も出てくるのではないかと。





**岡本 則夫・ロマノフスキーの飼育
に対する支援について**
ケアハウスの要望について

質問 ▶ 現在、町内において個人で飼育されている、ロマノフスキーに対する支援はしているのか。

町長 ▶ ロマノフスキーに対する町からの支援は特段行っていない。

質問 ▶ 外国からの輸入支援は考えられないか。

町長 ▶ 本人としては、自家交配で着実に増頭しようとしている。

「幌延の特産品にしたい」とのありがたい言葉をいただいております、町としてもどのような支援が望ましいか、本人と相談しながら考えていきたい。

質問 ▶ 単身高齢者が利用できるケアハウスの要望について

町長 ▶ 以前、町政懇談会でのご意見をいただいた。

質問 ▶ 開設計画はないのか。

町長 ▶ ケアハウスとなると、高額な入居料となり、また資格職員が集まらないなどの問題があり、実現できないでいる。

質問 ▶ 一人暮らしの高齢者住宅を賃貸住宅、もしくは無償で町に譲渡し、移住者住宅として改修するなどの条件で、ケアハウス、もしくはシェアハウスの入居へ

繋げることはできないか。



ロマノフスキー

町長 ▶ 家賃収入と年金を合わせたら入れるようなケアハウスになればいいが、持ち家を所持している単身高齢者を我々も把握しておらず、まず、どのようなニーズがあるのかを調べたい。

平成30年度 決算を認定

植村 敦氏を決算審査特別委員長に選任し、2日間の審査の結果、原案どおり認定されました。一般会計・特別会計の決算額については、10月号の「ほろのべの窓」でお知らせしておりますので、質疑応答について掲載します。

一般会計（抜粋）

◆歳出
《総務費》

斎賀委員 ▶ まちづくり事業補助と協働のまちづくり活動支援事業の補助件数は。

梶係長 ▶ まちづくり補助事業1件。協働のまちづくり活動支援事業4件。

斎賀委員 ▶ 特産品の開発について、北星園の過去の製品の復活などは検討できないか。

藤田課長 ▶ 北星園の事業の関係もあるので、相談はしてみるが、慎重に進めていかなければと考えている。



北星園

《民生費》

西澤委員 北星園民営化支援事業の課題として、継続支援の必要性等の検討協議とあるが、どのような事か。

村上課長 北星園の職員給与の補償部分については10年間を期限として定めている。ただ、こざくら荘の職員と北星園の職員との整合性を図るための協定もあり、一部分については、引き続き支援が必要か検討を進めていく必要がある。

《衛生費》

斎賀委員 带状疱疹の予防接種について、その成果は。

得能係長 65歳以上の方を対象に実施し、29名が接種した。今後とも広く周知をしていきたい。

《農林水産費》

斎賀委員 林業振興費の委託料9百57万6千円の内訳は。

山本課長 有害鳥獣駆除で、カラス駆除が2百23羽で単価1千円。キツネ駆除が22頭で単価5千円。シカ駆除が6百頭で1万2千円。ヒグマ駆除は6頭で単価6万円だが、駆除以外にも経費

がかかっている。

特定外来種の関係は、アライグマ駆除が2百39頭で単価5千円となっている。

西澤委員 生乳成分検査事業は、乳質改善を図ることを目的とした事業だと思いが、担当課として指導などが、改善を求めることが出来るのか。

新野係長 乳質が悪かった時には、組合員同意の下、ペナルティを課して乳質改善に取り組んでいる。補助金も出しており、乳質改善協議会の中で発言している。

《商工費》

岡本委員 ブルーポピーの現在の状況は。

伊山係長 基本的には宿根という形で残っていく植物だが、毎年種を蒔いて苗を補充しながら更新している。

《土木費》

西澤委員 森林公園改修事業について、展望台へと上る階段の整備・改修をしていくのか。

多田係長 より良い公園を目指して整備を進めたいとの思いはあり、今後検討していきたいと思っている。

◆歳入

吉原委員 税金や使用料の収入未済についてどのよう回収していくのか。また、不納欠損額については不公平感が出てくるが、今後どうしていくのか。

村元係長 収入未済については、繰越という形になっている。不公平にならないように、徴収の強化を進めている。また、不納欠損については、時効にならないように督促等を行い、全額回収できるよう努めている。

◆総括

無貴谷委員 町税の滞納については、動産の差し押さえもひとつの手ではないかと考えている。また、公営住宅の家賃滞納については、

保証人に通告するなど、方法を見直すべきと考えるが。

村元係長 動産差し押さえについては考慮しており、早めに検討し徴収にあたりたいと考えている。

島田課長 公営住宅入居者と面談し、支払計画等を立てて徴収を行っていきたい。

高橋委員 酪農家は、酪農ヘルパー事業の充実を求めている。町はヘルパーの募集に関し何も協力しないのか。

野々村町長 行政が先頭に立つてやることではないと思っている。担い手育成センター等の会議で、募集状況等の情報は得ているし、酪農をやりたいという協力

隊員の募集も可能だと思う。酪農ヘルパー事業の支援としては、人件費の補助をしている。

無貴谷委員 こざくら荘について。介護員がいなくて、40名満床にできないと経営状態が良くならないと思う。賃金や雇用形態等、介護員を増やすために町ができることは何か。

村上課長 入所定員に対する介護員の数が基準で決められており、現状では35名の受け入れが限度。

町は赤字部分を支援し、人件費も見直しをかけている状況なので、暫く様子を見て検証したいと思っている。

特別会計（抜粋）

《簡易水道》

西澤委員 上幌延・開進地区と問寒別地区を簡易水道化する事業が進行中だが、その進捗状況は。

山本課長 両地区とも、幹線は道営事業で整備している。上幌延・開進地区は令和2年、問寒別地区は令和3年の終了予定となっている。その後、各戸までの整備を町が行い、完了予定は、上幌延・開進地区が令和4年、問寒別地区が令和5年。



▽議案第1号

幌延町東ヶ丘スキー場設置条例の一部を改正する条例の制定について

◎従前の管理棟使用料と若干変更されているが、説明してほしい。

◎他の社会教育施設との整合性を図ったことと、施設が新しくなり、利便性が向上したため、若干料金を上げている。

ただ、他の社会福祉施設の減免規制を適用するため、町内会やこども会等の利用料はかからないが、個人での使用料は値上がりする。

◎その他、団体によって7割から5割減免となり、いずれも時間で変動する。

◎冬期間にスキー場がオープンしている間、管理棟の暖房は入っているのか。

◎新しい管理棟はトイレ暖房と休憩室暖房は別々となっており、寒くない形で運営する。

▽議案第7号

平成31年度幌延町一般会計補正予算について

◎問寒別地区での移住促進

住宅整備事業は、現在のこの地区で住宅を探している方であれば誰でも入居が可能なのか。また、住宅の構造は、以前整備された移住促進住宅と同じ造りなのか。

◎来年度採用予定の地域おこし協力隊2名を入居させる予定。改修住居は、前回同等の仕様と考えている。

◎今ある移住促進住宅に入居されている方の話では、冬期間のスガ漏りがひどいとの苦情を聞いた。

◎以前改修した移住促進住宅の件は、担当課として把握していない。

◎今回、内部改修するということなので、快適に暮らせると思う。

◎今後、問寒別小中学校の教員住宅はどの様に確保していくのか。

◎児童、生徒の定数の増減があるが、現状、職員住宅自体は足りている。近くの街から通勤を希望する教員もいるので、想定するのは難しいが、耐用年数を見ながら随時改修していきたい。

◎除雪運航管理システム導入後は、町民も除雪車の

位置を把握できるのか。

◎町民や市民が運行状況をパソコンなどで確認できる自治体もあるが、管理経費がかかりすぎるため、今回は導入する予定はない。



東ヶ丘スキー場管理棟

行政報告―町長

令和2年度以降の幌延深地层研究計画案について

8月2日に三者協定に基づく協議の申し入れを受けた。三者協定では、計画の内容を変更する場合には、事前に協議するものとされている。

原子力機構は、平成27年4月に始まった第3期中長

期計画において、平成31年度末までに研究終了までの工程とその後埋め戻しについて決定するとしており、今後の研究計画を検討した結果、引き続き研究開発が必要であるとして、協議を申し入れしてきた。

本町は、三者協定に基づく確認会議開催に合意し、9月10日に第一回目を開催。今後は、確認会議において研究計画を精査し、北海道と協議を進めながら、町民、議会の意見を参考に、本町の方針を決定していきたい。

教育行政報告―教育長

○学校教育

文部科学省委託事業遠隔教育システム導入実証校として、本町の中学校が選ばれた。

北海道教育委員会のプログラミング教育事業の研究実践校に幌延小学校が指定を受けた。

地域連携研修事業の研究実践校の主体校として幌延中学校、連携校に町内の小

中学校が指定された。

7月23日に問寒別小中学校運営協議会の第一回目の会議が開催され、コミュニケーションの取り組みがスタートした。

中学校陸上競技全道大会が7月26日から28日に旭川市で開催され、幌延中学校の生徒6名が自己記録を更新し、健闘した。

バトミントンでは、8月2日から4日にかけて稚内市で開催され、幌延中学校の生徒2名が男子個人、ダブルスに出場し、善戦した。

北海道吹奏楽コンクール稚内地区大会が7月28日に稚内市で開催され、幌延中学校吹奏楽部がC編成の部で銀賞を受賞した。

剣道スポーツ少年団が7月28日に札幌市で開催された全道大会に出場した。

夏のこども朝活事業を7月29日から8日間開催した。幌延町体育協会主催の北海道ブレイブ・ファイターズの車いすソフトボール合宿を8月24日、25日に実施し、町民との交流を深めた。

第8回
まちづくり常任委員会
9月3日

▽幼児教育・保育の無償化について

本年10月から幼児教育・保育の無償化が決定した。

幌延町認定こども園の利用者負担額は、給食費は月額4千9百円。牛乳代は町で負担する。教材費は月額1千1百40円。

問寒別へき地保育所は、法改正に伴う無償化の対象とならないが、町独自で国基準と同等の無償化を実施する。引き続き弁当を持参してもらい、利用者負担額は補食費月額7百円。教材費はこども園と同額。

町の収入がこども園全体で5百80万円、へき地保育所で60万円の減額となるが、臨時交付金が5百80万円交付される見込み。
◎ひとり親世帯等への配慮はどう考えていくのか。
◎9月以降の所得区分改定でどうなるか確認していないが、料金の据え置き、経

過措置等で負担増にならない設定を考える。

▽保健グループ執行場所移動に伴う保健センター等施設の管理体制について

10月から保健グループの執行場所が役場内へ移動する。

保健センター事務室の活用方法は、各種健診等の事前打合せ、事後カンファレンス、母子保健事業での母親の交流場所として使用。また、老人クラブ連合会・身体障害者福祉協会、遺族会などの団体会議スペースとして、2階に上がることが困難な高齢者、障がい者等が利用しやすくなる。

社会福祉協議会の来訪者対応スペースとしても活用する。
保健センターの管理は幌延町社会福祉協議会に農村環境改善センター、郷土資料館を含めた3施設を管理委託する。

委託内容は、館内清掃、周辺の環境整備、設備の管理、入館者管理。
委託費用は年間で1百10

万円程度。

◎役場では時間外に電話するとコールセンターに繋がると。保健センターには今ままで転送されていたが、今後保健師にどのように繋がるのか。

◎コールセンターで内容を聞き、センターから担当者に連絡が入り、折り返し担当者から連絡する。
◎防犯カメラの設置についての考えは。

◎玄関にインターフォン、ホールにカメラを設置し、2階で来訪を把握できるようにする。

◎1階の事務室を空部屋にし、2階事務所から人が降りてきて対応することだが、社会福祉協議会が下に降りて施設管理するべきではないか。

◎社会福祉協議会が下に降りてもらうことを前提に協議していたが、保健事業等で知られたくない、見られたくないという利用者もあり、当面はこのような対応をさせていただきたい。
今後、改修等で降りてき

討をする。

◎利用者として聞かせたくない話を保健センターでということなら、センターの移転は執務や打合せが楽だという役場の考えであり、利用者の考えに重点を置いていないのでは。

◎役場庁舎の方が、より町の中心となり、役場に来たついでに相談することも想定できる。デメリットばかりではない。



移動した保健グループ

▽建設管理課所管事業における補正概要の説明について

◎問寒別除雪センター
令和2年度施工完了とする2カ年計画とする。
面積1百42.79㎡、床面

積1百39.91㎡。鉄骨造平屋建て。収納車両は除雪トラーザ1台、ロータリー除雪車1台。設計業務費は5千5百99万円。

◎建設契約は単年度ずつ行うのか。

◎一括契約を考えている。
◎除雪車運転管理システム導入
手作業だった除雪業務の集計作業をスマートフォンGPSを用いて、各除雪車両の位置情報を把握し、自動集計する。

◎除雪の管理システムでは、書類作成業務がどのくらい軽減されるのか。
◎今まで手入力した労力がなくなり、データが自動入力されるようになる。

◎年間維持費は。
◎2百20万円程度。
◎夏期間の利用はしないのか。

◎4月1日から11月末までの道路維持業務、パトロール、草刈作業、路面調整等を管理する。

**まちづくり常任委員会
行政視察**
10月8日～10日

町の農業振興や地域振興（観光）拠点整備事業の議論を深めるため、10月8日から10日までの3日間で道南の八雲町など4カ所を訪問し研修や視察を行った。

研修地が遠方のために初日は移動日となり、翌日9日朝から八雲町役場を訪問し「農業経営基盤強化促進基本構想」に関する研修を行い、担当課参事より農地利用集積の取り組みや農業



八雲町役場での研修のようす

経営の法人化、新規就農者支援など実際の活動内容の説明をいいただき、質疑を行った。

八雲町の農地区分は、落合地区と石熊地区が園芸野菜や花卉などを中心とする畑作地帯、八雲地区が酪農、水田地区で、それぞれの地区で農地利用が進められ、農業法人が立ち上がっている。

新規就農者受け入れも活発に行われており、平成20年から今年までに10戸の新規就農があり、更に来年は酪農2戸、施設野菜農家2戸が就農予定となっている。現在、酪農では、メガファームと言われる大規模農場があり、バイオガスパラントを独自で保有し、研修農場として営農活動を行っている。

今年度には町・農協・酪農家で構成する、研修牧場（株）青年舎を創立。育成牛預託や研修生受け入れ、ヘルパー養成や親子食育体験、高齢者・障がい者雇用など多様な事業を展開するメガファームで、総事業費30億



道の駅 あかいがわ

円。令和3年度の営農開始を予定している。

また、八雲町でもバイオマス産業都市構想の認定を受け、研修牧場をはじめとする小規模個人農家を含めたプロジェクトも10年後完了を目指し進行中であった。

午後からは比較的山間部にありながら、道内でも人気のある2カ所の道の駅を視察した。「くろまつない」と「あかいがわ」は共にパン屋が人気で、地元住民にも利用されている。特産品開発は農産物加工センターが活用されていた。また、

地物野菜や果物も人気の商品となっていた。

10日には、小樽市内で創業百二十年の田中酒造で視察研修を行った。田中酒造は幌延町産ミズナラ樽で熟成した日本酒を製造している会社である。

今回、醸造工程等案内をしてくれた専務の岡田氏は「ワイン樽での熟成酒造りは新しい試みで大変楽しみになっていた。今後も続けていきたい。」と語っていた。



田中酒造内見学を行う議員

編集後記

早いもので令和元年も後一ヶ月で終わろうとしており、今年も異常気象による災害が多かった気がします。

私たちの住む地域は比較的穏やかに時を刻んだと思いますが、皆様はどの様に感じていますか。議会はと言うと、町の課題や町民の声を行政に反映すべく取り組んできました。まだまだ物足りなさを感じているかと思いますが、出来るところから行政と議論を重ね、課題解決のために努力していきます。

いよいよ来年度は東京オリンピック・パラリンピックの年となります。より良い開催地を目指して、色々な議論がされていますが、これらの努力が無駄にならずに、ラグビーワールドカップのように国民や世界中の人々に夢と感動を与えられる大会になればと願います。

- 編集委員長 植村 敦
- 副編集委員長 岡本 則夫
- 編集委員 齋賀 弘孝
- 無量谷 隆
- 西澤 裕之

成年後見制度の紹介企画第3回 「成年後見制度をご存知ですか？」



成年後見制度は、認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な方の日常生活を法的に支援する仕組みです。いつまでも幌延町で安心して暮らすことができるよう、定期的に成年後見制度についてお知らせします。

※おさらい・・・「**成年後見人**」とは、判断能力が不十分な方をサポートする人です。サポートされる人を「**被後見人**」といいます。

どんな人が後見人になれるの？



「本人のためにどのような支援が必要か」などを家庭裁判所が考慮し、選任します。

主に、本人の配偶者や親族のほか、弁護士・司法書士・社会福祉士など法律や福祉の専門家が選ばれます。また、社会福祉協議会などの法人も選ばれます。

このほか、一定の研修を受けた一般市民が「**市民後見人**」として役割を担います。



幌延町にも「市民後見人」がいます！

幌延町では平成26年に市民後見人養成研修を行いました。「市民後見人」は、幌延町民の感覚を生かした後見活動ができ、被後見人と同じ目線でサポートすることができます。

平成29年には、研修を受けた有志が『茶話会グループ』を立ち上げ、成年後見制度の普及啓発活動を行って

います。また、年2回、幌延町成年後見支援センターが主催するフォローアップ研修を受けて、知識の維持・向上に励んでいます。

幌延町のことをよく知る町民が後見活動をする事で、より身近な存在として活躍が期待されます。

本年度は次のような2つの活動を行いました

①6月29日、札幌市のジャスマイン権利擁護センターの水戸由子氏を招き、「私が後見人だったら」と題した講演を聞きました。軽度の認知症の方の事例をもとに、どのような支援が必要かを考えました。



②10月26日、石狩市成年後見センターの細谷芳江氏、石狩後見サポーターズの江崎芳雄氏、池田久美子氏を招き、それぞれの町の「成年後見制度普及啓発活動」について情報交換をしました。参加者はこれまでの活動を振り返り、お互いに刺激を受け合いました。



お問い合わせ先：幌延町成年後見支援センター（幌延町社会福祉協議会内）

電話：5-2090

幌延町地域包括支援センター（保健センター保健グループ）

電話・告知端末機：5-1790

幌延深地層研究センター 国際交流施設 【施設利用料金改定のお知らせ】

消費税率の引き上げに伴い、施設の利用料金を次のとおり改定したので、お知らせいたします。

■施設利用料金表

施設名	広さ	区分	通常料金 (10:00~18:00)	夜間料金 (19:00~21:00)	全日 (10:00~21:00)
多目的 ホール (240席)	366㎡	部屋料金	1,250円/時間	1,880円/時間	15,640円
		冷暖房料金	500円/時間	500円/時間	5,500円
会議室 1 (24席)	56㎡	部屋料金	260円/時間	410円/時間	3,310円
		暖房料金	100円/時間	100円/時間	1,100円
会議室 2 (12席)	30㎡	部屋料金	200円/時間	310円/時間	2,530円
		暖房料金	80円/時間	80円/時間	880円
会議室 (1+2) (36席)	96㎡	部屋料金	460円/時間	720円/時間	5,840円
		暖房料金	180円/時間	180円/時間	1,980円

※利用時間は、準備及び片付けの時間を含みます。

■オプション利用料金（多目的ホール使用の場合）

- 電動移動式観覧席（160席） 630円/時間
- ステージ照明設備 630円/時間
- 音響設備 630円/時間
- プロジェクター 310円/時間

お問い合わせ先：幌延深地層研究センター

電話：5-2022（平日9時～17時）

FAX：5-2033

情報

インフォメーション

12月の運転免許更新時 講習のお知らせ

優良運転者講習（30分）

- ・天塩町社会福祉会館
3日(火)午後1時～
- ・豊富町定住支援センター「ふらっときた」
7日(土)午後1時～
- ・遠別町生涯学習センター「マナパイ21」
14日(土)午後1時～

一般運転者講習（1時間）

- ・豊富町定住支援センター「ふらっときた」
7日(土)午後2時～

違反運転者講習（2時間）

- ・豊富町定住支援センター「ふらっときた」
7日(土)午後3時30分～

12月は“町税等の徴収強化月間”です！

町は、12月を「町税等徴収強化月間」と定め、町税（道町民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税）および使用料（介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育料、町営住宅料、水道料、下水道料、医療費）などの徴収強化に取り組みます。

【徴収強化の取り組み】

○納付相談

町税や使用料を納期内に納めることが難しい方の相談を受け付けますので、ご相談ください。

○催告と訪問徴収

納期を過ぎても納付されていない方には、文書・電話による催告、自宅や勤務先へ訪問します。

○滞納処分などの強化

町税および使用料などの滞納者で、完納に向けた納付意思が認められない方、納付誓約を守らない方などに対し、勤務先への給与調査、官公署や金融機関への財産調査を行い、差し押さえなどの滞納処分を行います。

【納付書をご確認ください】

お手元の納付書をご確認いただき、納付していない町税や使用料がありましたら、お早めに納付ください。

なお、納付書が見当たらない場合は、役場までお越しいただくか、電話でお問い合わせください。

【便利で確実な口座振替をご利用ください】

口座振替は、預金口座から町税や使用料が各納期限に合わせて自動的に引き落とされますので、日中お忙しい方や不在がちな方に大変便利です。

口座振替を希望する方は、預金通帳と通帳使用印をご持参のうえ、町内の金融機関でお申し込みください。

■お問い合わせ先

- ・税金、後期高齢者医療保険料 住民生活課
- ・介護保険料 保健福祉課 福祉グループ
- ・町営住宅料、水道料、下水道料 建設管理課 管理グループ
- ・保育料 認定こども園
- ・医療費 幌延町国民健康保険診療所

電話 告知端末機

5-1112 5-8812

5-1113 5-8813

5-1116 5-8816

5-1254 電話と同じ

5-1221 電話と同じ

十月定例俳句会作品
晩年や和む色なり秋の山
山澄みて郷を思いつ土を踏む
一刻の化粧華やぐ秋の山
道連れと湖面眺める秋の山
山の端のもうたそがれて冬隣
好きなこと道深まりて山の秋
古里の秋嶺富士に一礼す
秋嶺を据えて点々草ロール

幌延ほおずき俳句会

田小佐田熊富富横
中玉藤中谷樫樫山
徹利光順熊富富山
男治朗子子一堅とも貞
雄

水道の凍結にご注意ください

寒さが一段と厳しくなり、水道凍結が発生する時期となりました。冬期間は室内が暖かくても床下は非常に冷えますので、床下の換気口を閉め、「水抜き（水落とし）」をしっかり行い、凍結による水道管破裂や断水に注意してください。

—こんなときは要注意！—

- 外気温がマイナス4℃以下
- 旅行などで家を留守にするなど長期間水道を使用しない
- 1日中外気温が氷点下の「真冬日」が続く

凍結予防については、町ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

URL:<http://www.town.horonobe.hokkaido.jp/www/4/section/kensetsu/le009f000001ahhc.html>

お問い合わせ先：

建設管理課 管理グループ

電話：5-1116 告知端末機：5-8816

後期高齢者医療制度のお知らせ ～住民意見募集について～

北海道後期高齢者医療広域連合では、当広域連合と市町村が連携しながら処理する事務について定めた『第3次北海道後期高齢者医療広域連合広域計画』の改正にあたり、次のとおり広く住民の皆さんからご意見を募集します。

【募集案件】

第3次北海道後期高齢者医療広域連合広域計画（改正原案）

【募集期間】

令和元年12月6日（金）

～令和2年1月6日（月）（必着）

【公表資料】

『第3次北海道後期高齢者医療広域連合広域計画（改正原案）』

『第3次北海道後期高齢者医療広域連合広域計画（改正原案）、新旧対照表』

【資料及び募集要領】

北海道後期高齢者医療広域連合ホームページ (<https://iryokouiki-hokkaido.jp>) に掲載するとともに役場住民生活課生活グループで配布しています。

お問い合わせ先

北海道後期高齢者医療広域連合

電話：011-290-5601

住民生活課 生活グループ

電話：5-1112 告知端末機：5-8812

年末年始の公共機関等休業 12/30(月)～1/6(月)

機関・施設名	12/30 (月)	12/31 (火)	1/1 (水)	1/2 (木)	1/3 (金)	1/4 (土)	1/5 (日)	1/6 (月)
役場								
問寒別出張所								
認定こども園								
問寒別へき地保育所								
農村環境改善センター (保健センター)		休	休	休	休	休	休	
国民健康保険診療所（※1）								
患者輸送車								
幌延町移住情報PR支援 センター「ホロカル」								
町立歯科診療所	休	休	休	休	休	休	休	
スクールバス (幌延地区・問寒別地区)	休	休	休	休	休	休	休	※2
幌延町生涯学習センター 問寒別生涯学習センター 総合体育館 金田心象書道美術館	休	休	休	休	休	休	休	休
東ヶ丘スキー場		休	休	休	休			
ごみ・し尿収集業務		休	休	休	休	休	休	
老人福祉センター公衆浴場	休	※3	休	休				
備考	※1 国民健康保険診療所は、休診日でも救急患者を受け付けします ※2 スクールバスの1/6の運行は、問寒別地区のみです ※3 老人福祉センター 公衆浴場の12/31の営業は、午後1時～6時（最終受付は午後5時）です							

気象台一口メモ

暴風雪に備えて

いよいよ本格的な冬の季節を迎えました。今回は、「暴風雪」についてお話しします。

暴風雪に伴う災害は、猛吹雪による視界不良、吹きだまりによる交通障害や歩行困難、暴風による飛散物での家屋等損壊、停電などがあります。北海道では、暴風雪による災害が繰り返し発生しています。特に平成25年3月2日～3日には、道東を中心として猛吹雪で9人が亡くなり、車500台以上が立ち往生しました。

気象台では、宗谷地方で暴風雪が予想されるとき、暴風雪警報を発表します。また、広い範囲で暴風雪が予想されるときには、「数年に一度の猛吹雪となるおそれがあります。外出は控えてください」のキーワードを使った「見出し」のみの気象情報を、現象が発現する2～3時間前に発表し、厳重な警戒を呼びかけています。こうした「数年に一度の猛吹雪」のキーワードを用いる場合は、2～3日前から段階的に防災気象情報を発表し注意を呼びかけます。

暴風雪災害は、晴天から荒れた天気へと急変したときに多く発生しています。暴風雪警報が発表されたときには、天気が悪くても油断することなく、最新の気象情報や道路情報を事前に確認してから行動するようにしましょう。

お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話：0162-23-2679



まちの話題



10月23日 水曜日
10月24日 木曜日

乳牛399頭を各牧場へ 農家ら約50人が退牧作業

町営草地の間寒別団地、南沢団地で放牧していた乳牛399頭を各牧場に戻す退牧作業が10月23、24の両日行われました。2日間で延べ約50人の農家や農協職員が、無事全頭を移動させました。入牧は来年5月中旬以降行われる予定です。



10月15日 四曜日
10月18日 金曜日

火事起こさないよう 気をつけて

10月15～31日の秋の全道火災予防運動に併せ、北留消防組合幌延支署が10月15日に幌延と問寒別で防火パレードを、幌延町女性防火クラブが18日に町内2か所で啓発物を配り、火の用心を呼びかけました。



10月12日 土曜日
10月15日 四曜日

ごみゼロの町目指し 問寒別・幌延でクリーン作戦

町民と地元企業のボランティアが道路沿いを清掃する「クリーン作戦」が問寒別で10月12日に、幌延で同15日に行われました。参加者はごみゼロの街並みにするため、目を凝らしてごみを探し、拾いました。



10月26日 日曜日

どんな仕組みで動くの? 子供たちが工作教室楽しむ

青少年のための科学の祭典幌延大会が10月26日、ゆめ地創館で開かれ、町内外から多くの親子連れが訪れました。会場では、豆電球の懐中電灯や磁石を使って回るおもちゃ作りが人気で、子供たちは楽しみながら科学に親しみました。





地域おこし協力隊通信

vol.48

車とフェリーを使ってここ幌延町に到着してはや1ヶ月。到着したところに比べると、大分寒さを感じてきました。ちょうど、この協力隊通信を作成中に雪が降り始めましたが、自宅ではまだ暖房をつけていません。

改めまして、地域おこし協力隊の大川修史です。着任後初めて書く協力隊通信ですが、「以前の隊員とは別の視点から観光を推進しよう！」との思いから、町民の皆さんと意見交換を行い、少しずつ形にして発信したいと考えています。

“人が暮らす中で必要なもの”。その中で特産品を考えると「食」がメインになると思います。幌延町では生乳や肉類など他地域に負けない数の生産物があると思います。

そこで、「こういった特産品はどうか?」「うちの自慢の牛の牛乳でジェラートを作って販売したい!」「水がきれいだから魚の養殖をしよう!」など、皆さんの夢や熱意をアイデアとして教えてください。三人寄れば文殊の知恵ということわざがあるように、一人で考えるよりも多くの人にお話を伺い、より良くしていくことで町の観光を盛り立てる材料にしていければと思います。

私はまず来年春、シラカバの樹液を集めてビールをつくりたいと考えています。皆さんのご意見をお待ちしております。

お問い合わせ先：企画政策課 企画政策グループ 電話 5-1114 告知端末 5-8814

令和2年 成人式

- 日時 令和2年1月5日(日) 午後1時30分～
- 会場 国際交流施設

対象者一覧表(掲載許可をいただいた方のみ掲載)

No.	地区	氏名	No.	地区	氏名
1	1条	田中陸仁	8	幌延	新岡秀斗
2		富樫優一朗	9		細井杏菜
3	6条	村上大成	10	問寒別	阿部由裕
4	栄町	高橋純也	11		林駿介
5	下沼	BUI ANH DUC	12	上問寒	横山昂大
6	幌延	齊藤琳那	13	中間寒	三田地美佳
7		富谷朱			

対象になるのは、

1. 平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれの方で、町内に在住している方
 2. 上記期間中に生まれ、町内中学校の卒業生で、保護者が町内に在住している方
 3. 町内の学齢簿により抽出し、町外学校を卒業しているが、町内に保護者が在住されている方
 4. 町内の中学校を転校し、町外の中学校を卒業しているが、町内に保護者が在住されている方
- ※お名前が漏れていたり、幌延町の中学校卒業生又は幌延町の小・中学校在籍者で、保護者が町外に転出しているが、友人と一緒に成人式に出席したい方は、下記までご連絡ください

お問い合わせ先：

教育委員会 社会教育グループ 電話：5-1117 告知端末機：5-8817
幌延町生涯学習センター 電話・告知端末機：5-1321

関東で働きながら診療看護師や皮膚・排泄ケア、認定看護師など多様な資格を取り、実家のある北海道に戻ってきました。「結果は患者さんから」をモットーに、幌延の皆さんが笑顔で暮らすお手伝いができれば幸いです。よろしくお願ひします。



【所属】
国保診療所 看護師

松原 恵み

(11月1日付)

新規職員紹介

令和元年度 エネルギー関連施設見学会 【広報・調査等交付金事業】

11月2日(土)～11月4日(月・祝)

11月2日から4日にかけて、エネルギー関連施設見学会(一般の部)を行い、幌延町から10名が参加しました。

2泊3日の日程で幌延深地層研究センター、茨城県大洗町の大洗研究所、つくば市の地質標本館などを見学しました。

幌延深地層研究センターでは、研究開発の説明だけではなく、実際に研究が行われている深度350mの調査坑道地下施設を見学しました。

大洗研究所では、厳重なセキュリティーチェックを受けたあとに、高温工学試験研究炉(HTR)を見学し、高温ガス炉から供給される高温の熱を利用した水の熱分解による水素製造について説明を受けました。



納めた国民年金保険料は社会保険料控除の対象です

● 社会保険料控除とは

ご自身や配偶者などの家族の社会保険料（国民年金、国民健康保険、健康保険・厚生年金保険など）を納めている場合に、年末調整などで申告することで受けられる所得控除のことです。

1月から12月末までに納めた社会保険料が対象となるため、この期間に納めた過去の年度分や追納された保険料も含まれます。

● 年末調整の際に必要な書類

・「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」

※ 1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方に、10月末に日本年金機構から送付されています。

・領収証書など保険料を支払ったことを証明する書類

※「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」がお手元にない場合に必要です。

● 年末調整時に年金分の控除をしていない場合

10月1日から12月31日までの間に国民年金保険料を納められた方には、翌年2月上旬に「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が年金機構から送られる予定なので、確定申告の際にお使いください。



稚内年金事務所からのお知らせ

☆年金相談窓口は原則予約制です☆

稚内年金事務所の年金相談窓口は、原則予約が必要となります。待ち時間が長くなったり、相談を受けられないといったトラブルを避けるためにも稚内年金事務所にご相談の際には、事前に予約をお願いします。予約は当日でも受け付けています。よろしくお願いします。

稚内年金事務所の年金相談窓口のご予約は

電話番号 **0162-74-1000** へ

自動音声で案内しますので、音声に従って「1」→「2」の順に選択してください。

お問い合わせ先：稚内年金事務所 電話：0162-32-1941

住民生活課 住民グループ 電話：5-1112 告知端末機：5-8812

町民くらしのカレンダー 12月 (Dec)

注：保セ=保健センター 子セ=子育て支援センター
 問セ=問寒別生涯学習センター 問保=問寒別へき地保育所
 老セ=老人福祉センター 生セ=幌延町生涯学習センター
 総体=総合体育館 東ス=東ヶ丘スキー場

1日	問寒別地区対抗ミニバレーボール大会 10:00～(予定)	17火	つぼみひろば 10:30～11:30(子セ)
2月		18水	ぱくぱくきつず 10:00～(保セ) めばえわかばひろば 10:30～11:30(子セ)
3火	つぼみひろば 10:30～11:30(子セ)	19木	はつらつ教室 9:45～(保セ)
4水	めばえわかばひろば 10:30～11:30(子セ) 問寒別にこにこ教室 10:00～(問セ)	20金	こども園もちつき10:00～(こども園) 福寿会ふまねっと 14:00～(老セ)
5木	はつらつ教室 9:45～(保セ)	21土	東ヶ丘スキー場オープン(予定)
6金	にこにこ教室 9:30～(保セ) 子育て講座 10:30～11:30(子セ)	22日	
7土	子ども運動教室「運動能力テスト」 10:00～12:00(予定、総体)	23月	【心療内科・精神科診療日】
8日		24火	
9月	【心療内科・精神科診療日】 2歳児相談 10:00～(保セ)	25水	各小中学校終業式 消防歳末特別警戒(12/31まで) 子ども運動教室「低学年スキー教室」 18:30～19:30(予定、東ス)
10火	問寒別へき地保育所クリスマス会 10:00～(問保)	26木	各小中学校冬季休業(1/19まで) こども料理教室 10:00～(保セ)
11水	こども園クリスマス会 10:00～(こども園) すくすく健診 13:00～(保セ)	27金	子ども運動教室「低学年スキー教室」 18:30～19:30(予定、東ス) 幌延町消防団年末警戒 20:30～22:00(幌延)、20:00～22:00(問寒別)
12木		28土	幌延町消防団年末警戒 20:30～22:00(幌延)、20:00～22:00(問寒別)
13金	【問寒別出張診療日】 心象館「音楽の夕べ」 19:00～21:00 (金田心象書道美術館)	29日	幌延町消防団年末警戒 20:30～22:00(幌延)
14土		30月	御用納め 幌延町消防団年末警戒 20:30～22:00(幌延)
15日		31火	大晦日
16月	英会話教室 19:00～20:30(生セ)		



★お悔み申し上げます
 水上スミ子さん(87歳) 1条南1
 今 智恵子さん(66歳) 幌延

戸籍の窓
10月

◇幌延町社会福祉協議会へ
 (香典返しの一部)
 水上 勝夫さん(母) 1条南1
 (社会福祉事業へ)
 問寒別カラオケ愛好会 問寒別

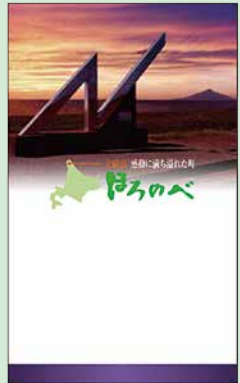
ご寄付ありがとうございます
 10月



幌延町をPRする名刺到新デザインが加わりました!

秘境駅キャラクターなどを描いたデザインを追加しましたので紹介します。名刺の台紙は無料で提供しますので、利用を希望される方は企画政策課までお越しください。氏名などの印刷は、個別に行うか実費で印刷会社などにご注文ください。

お問い合わせ先：企画政策課 電話：5-1114
告知端末機：5-8814



ほろのべの裏窓

■「サケの遡上を見たのは初めてだ。全国を歩いて旅しているという岐阜県の80代男性は、ぼろぼろになりながら産卵のために川を上ってきたサケを見て、思わず声をあげました。

■男性に出会ったのは10月下旬、開進方面での外勤の帰り。天塩川支流にかかる橋の上から川を見下ろす男性に目が留まり、声をかけました。男性の視線の先には、川の浅瀬で水面から背びれを出して泳ぐ5匹ほどのサケのシルエットが見えました。

■「撮影できれば広報誌の表紙になるかもしれない」と川に近づいた途端、サケは一斉に散り散りに。一匹だけその場に留まっていたので、防水機能付きカメラを水中に入れシャッターを押しました。そこには、目は白く濁り、体中に傷を負ったサケが写っていました。私の後に続いて川に降りてきた男性に見せると、「サケの産卵はこんなにもすごいものか。幌延で見られたことを一生の思い出にする」と喜んでいました。

■結局この画像は表紙に選びませんでした。初めて幌延を訪れた道外の人に「一生の思い出」と感じていただけたのはうれしいこと。一期一会のチャンスを逃さず、町の魅力を探していきたいです。



● 広報へのご意見、ご要望をお寄せください ●

住民生活課生活グループ 電話：5-1112 告知端末機：5-8812 / E-mail:seikatsu@towm.horonobe.lg.jp



まっこのき
(令和元年10月末日現在)
※()内は前月比

男	1,186 (+8)
女	1,121 (-1)
計	2,307 (+7)
世帯数	1,250 (+6)

令和2年 新年交礼会

とき 令和2年1月6日(月)
午後5時30分～
ところ 国際交流施設

